

“内向的”な人材が グローバルで仕事をして チームを率いる際の問題点と解決策

講師

上原 輝彦

Bio-Rad Laboratories, Inc.,
Associate Director of Global Product Marketing,
Life Science Group

東京大学卒業後経営コンサルティング会社にて製造業の市場参入やマーケティング戦略の立案などのプロジェクトに従事。その後 Bio-Rad Laboratories 社日本人において、プロダクトマネージャーとして勤務。
2016 年 UC Berkeley にて MBA 取得後、ヘルスケア系ベンチャーキャピタルにて勤務したのち、Bio-Rad Laboratories 社米国本社に転職。
遺伝子研究領域での最先端製品である Droplet Digital PCR の開発、及び急速なビジネスの拡大に貢献。現在も米国現地で顧客ニーズを捉え続け、戦略立案・新製品の開発やマーケティングに従事している。



日本では、人口減少や国内市場の成長鈍化が進む中、多くの企業にとってグローバル市場での競争力強化が喫緊の課題となっています。その鍵となるのが、多様なチームを率いることができるグローバルリーダーの育成といわれています。

一般に、グローバルリーダーと聞くと、「外向的でカリスマ性のある人物」を想起する方が多いかもしれません。そのため「自分は内向的であるため、リーダーには向いていない」と考える方も少なくありません。果たして、内向的な人材はグローバルリーダーとして活躍することが難しいのでしょうか？

本講演では、UC Berkeley の Global Leadership 講座における議論内容や、8 年以上にわたる米国現地企業での実務経験を基に、グローバルチームで求められるリーダーシップの本質を探ります。特に、内向的な人材の強みと、それを生かすリーダーシップスタイルに焦点を当て参加者が自身のリーダー像について考える機会を提供いただきます。

日時

2025. 6. 11 (水) 18:00～19:00

会場

医学部 6 号館 1 階講堂 / オンライン (Zoom)

定員

会場 70 名 / オンライン 430 名

(定員数に達した場合は参加をお断りすることがあります)

申し込み

お申し込みフォームまたは QR コードから 6 月 6 日 (金) までにお申し込みください

<https://share.hsforms.com/15GZJ9QtIT20Gcic5vjwZwgnj5ke>

※開催日までにご登録のメールアドレスに参加 URL をお送りします



◆ 公開セミナーとして開催されますので、どなたでもご参加いただけます



未来型医療創造卓越大学院プログラム

共催：東北大学病院臨床研究推進センター バイオデザイン部門